

「この運動において力を入れて取り組むこと」の例

(1) 犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、再犯を防止することの大切さや、更生保護の活動について、デジタルツールも活用するなどして、広く周知し、理解を深めてもらうための取組

犯罪や非行をした人たちが社会復帰をするためには、地域社会において彼ら彼女らが孤立することのないよう、その立ち直りを支えていくことが大切です。そのことが再犯を防止し、新たな被害者を生まない、安全・安心な地域社会作りにつながります。

立ち直りを支えるため、国や地方公共団体においては再犯の防止等に関する各種施策が行われ、また、民間においても、更生保護ボランティア等による多様な活動が行われています。施策や活動の内容を広く知ってもらい、理解を深めてもらうことは、地域全体で立ち直りを支える大きなチカラにつながります。

私たちは、本運動を通じて、様々な広報媒体や広報手法を用いて情報の発信に努め、人から人へ、立ち直りを支えることの大切さが広く伝わっていくように努めていきます。

【一人ひとりにできる、再犯防止や更生保護の活動を知る関わりの例】

- 再犯防止や更生保護について、SNS等で発信された情報をフォローする
例) 法務省 Twitter・法務省保護局 Twitter・法務省保護局 Instagram のフォロー、更生保護ボランティアに関するメッセージ動画の拡散
- 再犯防止や更生保護をテーマとしたシンポジウムへの参加やオンライン上でのライブ配信を視聴する
例) 再犯防止、就労・住居の支援、福祉支援、依存症からの回復支援等をテーマとしたシンポジウムへの参加、ライブ配信の視聴
- “社会を明るくする運動”に関係する各種イベントに参加する
例) 街頭広報活動、ミニ集会、住民集会、公開ケース研究会等への参加

(2) 犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りには様々な協力の方法があることを示し、多くの人に協力者として気軽に参加してもらうための取組

犯罪や非行を防止する、犯罪や非行からの立ち直りを支援する、というと、難しく聞こえるかもしれませんが。また、「犯罪や非行をした人」という言葉からは、怖い、どう接したらよいか分からない、といったイメージを持たれることもありますし、関わりといっても、何をしたらよいか分からないという人もいるかもしれません。

しかし、協力の方法は様々です。例えば、身近なところでは、地域に孤立していそうな人がいたら、挨拶をしてみる。そのことが、孤立を少しでも防ぎ、ひいては犯罪に陥ることを防ぐことにつながるかもしれません。様々な人が、自分にできることで支え手となり、それが層のように重なれば、大きく豊かな運動となります。

私たちは、本運動を通じて、犯罪や非行の防止と犯罪や非行からの立ち直りに理解を示してくれる人たちに、多様な関わり方の例を示し、多くの協力者を巻き込んだ運動となるように努めていきます。

【見守りとしての関わりの例】

- 地域にいる、犯罪や非行から立ち直ろうとしている人に対し、偏見を持たず、温かい視線で見守る
- 地域で孤立していそうな人がいたら、声を掛けてみる

【資金や物資面での関わりの例】

- 犯罪や非行をした人の立ち直りを支援する事業のクラウドファンディングに協力してみる
- 犯罪や非行をした人が関わるソーシャルファームの作る農作物を購入してみる
- 立ち直り応援基金へ寄附をする

【各種行事への関わりの例】

- 犯罪や非行の防止や立ち直りを支援するイベントにサポートスタッフとして関わる

(3) 保護司、更生保護女性会会員、BBS 会員、協力雇用主等の更生保護ボランティアの活動を支援し、なり手を増やすための取組

犯罪や非行をした人は、刑務所での刑を終えるなどした後、再び地域に戻り、地域において再出発を図ります。その人たちに対し、同じ地域社会の一員として、彼ら彼女らを支える多くの更生保護ボランティアが存在します。保護司、更生保護女性会会員、BBS 会員、協力雇用主等、民間の立場から関わる更生保護ボランティアが地道な活動を積み重ねているからこそ、地域社会における、息の長い支援が形作られているのです。

しかし、日本では、社会の変動により、少子高齢化や地域社会における人間関係の希薄化が進み、保護司を始めとするボランティアが減少傾向にあり、従前のような活動が難しくなっています。

私たちは、本運動を通じて、更生保護ボランティアの様々な活動を広報し、それを体験する機会を提供したり、更生保護の各種イベントを行う際に広く市民からサポートスタッフを募集したり、更生保護ボランティアになるための方法を広く周知するためのセミナーを行ったりして、更生保護ボランティアのなり手を増やし、活動を発展させていくことができるよう努めています。

【一人ひとりにできる、更生保護ボランティアの活動を発展させるための関わりの例】

- 更生保護ボランティアの活動を体験する
例) 保護司活動インターンシップへの参加、“社会を明るくする運動”各種イベントへの参加、保護観察所への問合せ
- 更生保護ボランティアになるための方法を知る
例) 保護司セミナーへの参加、“社会を明るくする運動”各種イベントへの参加、法務省ホームページ・保護局公式 Twitter 等の閲覧、保護観察所への問合せ

(4) 民間協力者と地方公共団体と国との連携を強化しつつ、犯罪や非行をした人が、仕事、住居、教育、保健医療・福祉サービスなどに関し必要な支援を受けやすくするためのネットワークをつくる取組

犯罪や非行をした人たちの中には、その背景に、虐待、貧困、ホームレス、学習機会の不足、高齢・障害、依存など様々な「生きづらさ」を抱えている人たちが少なくありません。また、一人の人が複数の生きづらさを抱え、制度を利用して支援を受けたいけれども、制度と制度の狭間に陥り、適切な支援を受ける機会を逸しているということもあります。

その人たちの立ち直りを支えるには、農福連携のように、異なる立場や分野の支援者が互いに手を携えてネットワークを作り、そのネットワーク全体で生きづらさを解消していく必要があります。

私たちは、本運動を通じて、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを息長く支えるネットワークを作るための取組を展開していきます。

【ネットワーク作りの例】

- “社会を明るくする運動” 推進委員会の構成機関・団体に、様々な立場や分野の機関・団体に加入していただく
- “社会を明るくする運動” 関連のポスターや広報資材を、幅広い機関・団体に掲出していただく
- 就労、住居、教育、保健医療・福祉サービス（農福連携を含む。）を担当する機関や、様々な「生きづらさ」を抱えている人への支援を行う団体と、更生保護の関係機関・団体が、それぞれの分野に携わる人に参加を促しながら、犯罪や非行からの立ち直りに関するシンポジウムその他のイベント等を実施する

(5) 犯罪や非行が起こらないよう、若い人たちの健やかな成長を期する取組

近年、地域の人間関係の希薄化が進み、地域全体で若い人たちを見守る機会の減少や、子育て世帯の孤立による児童虐待、コミュニケーションの不足による孤立等を背景に、様々な社会のひずみへとつながり、そのことが、若い人たちの健やかな成長を阻み、非行や犯罪につながっていることが考えられます。

私たちは、本運動を通じて、若い人たちの健やかな成長を期する取組を行い、その取組に多くの人々に参加していただけるよう、呼びかけに努めていきます。

【若い人たちの健やかな成長を期する取組への関わりの例】

- 学校や地域で行われる非行防止集会に参加する
- 大学で行われる非行防止のためのワークショップに参加する
- “社会を明るくする運動” に関係する各種イベントに参加する

【子育て世帯支援への関わりの例】

- 更生保護女性会が行う子育て支援教室に参加する